



誰もが安心して過ごせる学校を目指して

新緑が目には鮮やかな季節となりました。天候が不順な日も多いですが、子どもたちは、落ち着いて学校生活を送っています。本校では、豊かな学習環境の中で、子どもたちが安心して過ごせる学校づくりを目指しています。また、日々の教育活動の中で自他を大切に、思いやりのある心を育ていけるように取組をすすめています。各学級でも学級目標を決めるにあたり、いじめのない学級にするにはどうしたらよいかをみんなで話し合いました。子どもたちは、「みんなで声をかけ合い協力する」「相手のことを考え行動する」「困った子がいたらすぐに助けに行く」など、日頃から意識していくことが大切であると互いに意見を出し合い、自分たちの学校生活を見直していました。これからの時代をたくましく生き抜いていく子どもを育てるためには、学校・家庭・地域が連携し、地域社会全体で子どもたちを見守り、一体となって、問題行動の未然防止に努めていくことが重要です。今後ご理解、ご協力をお願いします。学校で4月から5月にかけて重点的に取り組んだ内容を紹介します。

○自分から進んで気持ちのよいあいさつをしよう



休み時間にたてわり班で職員室や各教室をまわり、みんなで一斉にあいさつをする「あいさつ運動」や出会った人に個人であいさつをしてサインを集める「あいつも運動」を行いました。

人は人との関わりの中で様々な体験や経験をしながら成長していきます。そして、いろいろな人と関わりをもつには、自分から心を開くことが大切で、その始まりがあいさつをすることだと思います。このような取組をすると、朝から元気よく気持ちの良いあいさつをしてくれる子が増えるとともに、校舎内のいろいろな場所で子ども同士であいさつをしている声がたくさん聞こえてきます。しかし、日によってあいさつの仕方が変わったり、地域の方に「いってらっしゃい」と声をかけられても、恥ずかしそうに通り過ぎてしまったりする子もいます。これからも学校では、「誰に対しても明るく気持ちのよいあいさつをすること」や「相手の方を見てあいさつができる」ことに重きをおいて指導していきます。



○たてわり班で仲良くなろう

たてわり班(1年生から6年生の異学年で構成された班)で班旗を作成しました。班旗作成では、1年生から6年生の班員全員で年間を通して取り組む目標を設定するとともに、班員一人ひとりが、自分が班で活動する際に取り組む目標を記しました。今後も掃除や運動会などで、このたてわり班を使って、異学年交流を行っていきます。



○いじめ防止標語を作成しよう

6年生が道徳の時間にいじめについて考え、全校のみんなにいじめ防止を啓発しようと、いじめ防止標語を作成しました。今後、全校児童に伝えていきます。

ふるさと学習でお世話になっています

今年度も1・2年生がさつまいも、3・4年生が梅、6年生が稲作と自然薯といった食につながるふるさと学習を行っています。どのふるさと学習も長年に渡って保護者や地域の方々のご協力のおかげで継続して教育活動を行うことができています。ありがとうございます。

<全校田植え・どろんこ集会>



先日、加太保育園年長児さんと一緒に田植えを行いました。地域の方に苗の植え方を教えてもらった後、小学生と保育園児がー列になって田植えをしました。子どもたちは、地域の方に教えてもらった通り、3本から5本を目安に苗を丁寧に植えていきました。田植え終了後には、田んぼの端にー列に並び、一人一本苗を植え、「おいしいお米がとれますように」「お米がいっぱいとれますように」などと、自分の願いを書いた立札を立てていきました。その後は、児童会が企画したどろんこ集会です。小学生と保育園児の混合チームと大人チーム対抗で折り返しリレーをしたり、2班に分かれてドッジボールをしたりしました。どろんこ集会の最終は、お馴染みのダイビングです。希望者がー列に並んでダイビングを楽しみました。子どもたちは、自然の中で生き生きとした姿を見せていました。



<梅の観察>

3・4年生が、北在家の梅栽培圃場へ梅の観察に行きました。地域の方に案内してもらいながら70本ある梅の木の間を歩いたり、梅の実がなっている様子を観察したりしました。また、地域の方やJAの方に梅がよくとれる県や梅がとれる時期など、自分たちが調べたいことを質問してメモをしていました。



<サツマイモ植え付け>

1・2年生が、地域の畑へ行き、サツマイモの植え付けを行いました。地域の方やJAの方に苗の植え付け方を教えてもらい、たくさんのサツマイモの苗の植え付けと水やりをしました。その後、畝の作り方やマルチシートをかける理由、収穫時期など、自分が質問したいことを尋ね、詳しく教えてもらいました。

